

林いさお通信

討議資料

No.5 『念ずれば花ひらく』

平成19年4月27日発行

林いさお後援会

念ずれば花ひらく

念ずれば

花ひらく

苦しいとき

母がいつも口にしていた

このことばを

わたしもいつのころからか

となえるようになった

そうしてそのたび

わたしの花がふしぎと

ひとつひとつ

ひらいていった

坂村真民

十数年前、人生に迷った時、愛媛県砥部町^{とべ}の坂村真民先生を訪ねました。先生から優しいお言葉をいただき、右の色紙を下さいました。

この数ヶ月、駅で、町で多くの人に出会いました。

そして、町への数多くの真摯な思いをお聞きしました・・・。

『念ずれば 花ひらく』

一人ひとりの夢が、そして町の夢が花ひらくことを願っています。

多くの人々の思いを胸に、私に課せられた使命と責任を果たしていきたいと思えます。

林いさお